

## 事業報告書

(TSURUMI子どもホスピスの広場運営とファンドレイジング強化のための推進)

2019年4月15日

一般社団法人こどものホスピスプロジェクト

報告者:岩井弥生

### 1. 患者と家族が地域一般参加者が交流する機会の創出

1)時期:通年

2)場所:TSURUMI子どもホスピス内「あそび創造広場」

3)参加者:メンバー家族、地域の一般市民

→2018年度エントリーされているメンバー家族や、地域の一般の方々を対象とし、ホームページなどで募集

4)内容:

A 一般市民への施設開放、利用・見学受け入れ

→TSURUMI子どもホスピス館内のつるみカフェを毎週金曜午前を開放した。

つるみカフェを開放するふらっとカフェ 63回開催 31名

B 一般市民による企画イベントの開催

→TSURUMI子どもホスピスにエントリーしている子ども達も気軽に一般のイベントへ参加できる機会を作る。



4月23日 おやこのKIZUNAプロジェクト 7名

5月18日 ここいろ 9名

5月21日 おやこのKIZUNAプロジェクト 9名

6月30日 おやこのKIZUNAプロジェクト 12名

7月21日 プティパの会 21名

心疾患児の遊び広場こころ 11名  
7月16日 おやこのKIZUNAプロジェクト 11名  
8月4日 しぶたね 10名  
8月20日 心疾患児の遊び広場こころ 8名  
9月1日 ウイングス医療的ケア児などがんばる子どもと家族を支える会 27名  
9月15日 おやこのKIZUNAプロジェクト 14名  
9月21日 心疾患児の遊び広場こころ 10名  
10月15日 心疾患児の遊び広場こころ 11名  
10月20日 ジャパンハート 25名  
11月16日 おやこのKIZUNAプロジェクト 8名  
12月17日 おやこのKIZUNAプロジェクト 14名  
2月18日 おやこのKIZUNAプロジェクト 14名  
3月15日 おやこのKIZUNAプロジェクト 7名  
3月18日 心疾患児の遊び広場こころ 11名

合計 239名

#### 【成功した要因】

一般開放に関しては、特に成功を感じる。

館内からでも、保育園の子どもたちが原っぱエリアを自由に走り回ったり、放課後に近隣の子どもたちがお友達と遊んでいたりと、お天気の日には歩き始めのお子さんを連れてベビーカーをつきながらお散歩するお母さんの姿が見れ、こどもたちからも「ここはどうゆうとこなの？」というお話から自然とお話が進み、今までホスピスという名前から少し抵抗を感じられていた方も多い中、地域の身近な存在としてまた一歩近づけたと感じている。

#### 【失敗した要因】

特になし。

#### 【新たな課題と対応案】

ふらっとカフェも利用者も少しずつではあるが増加はしているものの、利用者がいない日も多く地域への周知方法を再度見直す。

## 2. 屋外イベントの実施

1) 時期: 2018年4月~12月(4回)

2) 場所: TSURUMIこどもホスピス、大阪府内の各所

3) 参加者: 300名(メンバー家族、地域の一般市民)

→2018年度エントリーされているメンバー家族や、地域の一般の方々を対象とし、ホームページなどで募集

4) 内容: 屋外でのイベント開催

→原っぱエリアにて、多くの人が参加できる規模のイベントを行う。



7月1日 大阪府医師会フィルハーモニー第48回定期演奏会 4名

8月19日 TCHなつあそび 109名

9月8日 コウバドリコンサート 9名

10月6日 サツマイモ堀り 台風の為中止

合計122名

#### 【成功した要因】

夏の遊びを楽しみたい、プロの音楽を楽しみたいなど一人や家族だけではなく、多くの人と一緒に楽しむ時間が作れたと感じている。コンサートに関してはご家族自身もしっかり楽しんでいただけたと感じる。

#### 【失敗した要因】

屋外イベントに関しては、台風による中止があったり、大人数のイベントは開催準備がかなり大変で数多く開催することができなかった。

#### 【新たな課題と対応案】

屋外イベントは申込者も多く、希望されている事業ではあるが、開催するテーマ決め、参加する子どもたちによって季節、時間帯などの検討事項もあり準備がかかるが、子ども達、ご家族のご希望をもう少し取りテーマを増やしたり、TSURUMI子どもホスピスでしかできないわくわくする大規模プログラムを開催したいと考えている

### 3. 支援者拡大のためのファンドレイジング活動

1)時期:通年

2)場所:TSURUMI子どもホスピス内「あそび創造広場」、原っぱエリア

→ホームページにてサポーターズカフェを告知、別途TSURUMI子どもホスピスへ見学や視察の

依頼があった際、TSURUMI子どもホスピスを知ってもらう窓口としてサポーターズカフェを案内。

### 3)内容:ファンドレイジングのPR活動の実施

→TSURUMI子どもホスピスのPR活動を行い、継続寄付者や協力していただける企業団体とつながれるイベントを行う。



- 5月20日 サポーターズカフェ 12名
- 7月15日 サポーターズカフェ 12名
- 9月16日 サポーターズカフェ 21名
- 10月21日 サポーターズカフェ 6名
- 10月26日 リベラチャリティコンサートへの出展 会場1300名規模
- 11月18日 サポーターズカフェ 0名(中止)
- 12月8日 国際ロータリークラブ地区大会出展 フライヤーやチラシなど約100枚配布
- 12月16日 サポーターズカフェ 4名
- 2月17日 サポーターズカフェ 4名
- 3月17日 サポーターズカフェ 15名

#### 【成功した要因】

サポーターズカフェには多くの方に参加していただくことができた。

コンサートやイベントへの出展の声掛けも多く頂いた。

#### 【失敗した要因】

特になし

#### 【新たな課題と対応案】

サポーターズカフェに関しては、対象者を医療関係者などに固めた回も作り、より深い情報を共有し、あらゆる形のサポーターを見出すことを検討。

## 4. 広場整備の為の測量

1)時期:2018年7月~8月

2)場所:TSURUMI子どもホスピス内「あそび創造広場」、原っぱエリア

3)内容:広場整備の為の測量

→天候が悪い日等、原っぱ広場の水はけが悪く、通行が困難なため、広場整備が必要になり、その整備の前に広場全体の排水の測量を行う。

【成功した要因】

測量を行ったため、原っぱ整備を工事を進めることができた。

【失敗した要因】

特になし

【新たな課題と対応案】

特になし

以上